

組織標本の多重染色と Vectra Polarisによる画像解析の紹介

臨床研究における活用事例の紹介

日程: 2022年10月13日 (木曜日)
時間: 16:00から17:00 (質疑応答含む)
形式: ハイブリッドセミナー(滋賀医科大学 A 講義室とTeamsシステム)
演者: 野村 守 キコーテック株式会社

お問い合わせ: taneda@kiko-tech.co.jp (営業担当: 種田)

本セミナーでは、FFPE組織切片を用いた免疫染色(IHC)の多重染色技術を解説し、多重染色した組織標本のイメージング・定量解析技術を紹介します。併せて本技術を活用した最近の研究事例を臨床研究を中心に紹介します。

主なトピック

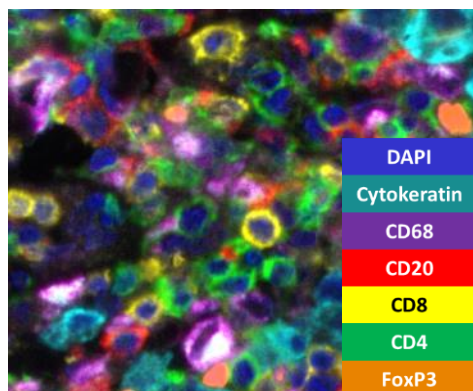
近年の解析技術によるマーカー探索と臨床研究における検証
FFPEの蛍光多重染色とスペクトルイメージングを用いた組織解析
Vectra Polarisの実際のアプリケーションについて最近の論文事例から紹介

- ・がん免疫研究における活用事例
- ・腫瘍微小環境における免疫状態の解析
- ・空間解析的アプローチによる免疫状態の評価法
- ・腫瘍マーカーの発現解析

このような要望を解決するソリューションです。

- ・ 同じ動物由来の抗体の組み合わせで組織を多重免疫染色したい。
- ・ 陽性細胞率の定量。
- ・ 免疫細胞を組織上でフェノタイピングしたい

多重染色染色: FFPE切片、Vectraで撮影



免染標本の定量解析

